

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせた作成も可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. C-30

部門名： 地域とともにある学校実践部門	エントリー名： 高知県土佐市立新居小学校 元吉直子 令和元年度健康教育指導者養成研修
活動名： 健康の渦を巻き起こす新居 元気 しなやか あきらめない 人づくり	
解決すべき課題： 子どもの実態から課題を明確にする 本校の子どもには、自己肯定感が低く認められ感が少ない、自信がなく主体的な活動になりにくい、不登校傾向児がいる、子ども同士の人間関係によるトラブルがある、生活リズムが整っていない等の課題がある。 健康教育指導者養成研修で学んだ効果的なマネジメント方法を生かし、地域全体でベクトルを合わせスクラムを組み課題を克服できるような体制づくりを構築していきたい。	
目標・方針： ふるさとを愛し世界に目を向ける子ども、将来の地域の宝を育てる (研究主題) 温かい人間関係を基盤として、自分らしさを発揮し主体的に活動できる学校づくり (目指す子ども像) いろんなことにチャレンジする子ども (特に重視したい実現したい子どもの姿) 自分からやりたい・やってみたいと言える子ども、やり続ける子ども 以上のような子どもになるために取組の 3 本柱を立てているいろんなことにチャレンジし健康づくりができる人を目指す。	
活動内容： 以下の活動について配慮しつつ、心と体の健康づくりのための PDCA サイクルをまわす ① 各月・各行事等にチャレンジすることを教室に貼り、今何にチャレンジしているかを可視化する。 ② 子どもの企画・運営による学級活動や委員会活動を推進し、教師は口出しをせず見守り待つ。 ③ 良い言動を見つけたらタイムリーに褒め、ボイスシャワーで肯定的評価をし、日常の称賛を可視化する。 ④ 安心安全な学校環境・家庭環境・地域環境をつくるため、「話をしている人の方につま先を向けて聞く」「名前をつけたあいさつをする」「よきたね～の姿勢で接する」。 ⑤ 基本的な生活習慣が定着するように個別の保健指導「かがやきの時間」を継続的に行う。 ⑥ 「自分の思いを相手に伝える」「怒りを鎮める」ためのトレーニングを行い、心の感情の出し方について学ぶ。 ⑦ 全校体育(縄跳び・ドッジボール・ダンス・ニスケ：サスケの新居小学校版)等をして体力強化を図る。 ⑧ 多彩な地域の方との交流を充実し、子どもの学びと育ちが豊かになり、地域の方に感謝し地域に貢献できるような人づくりとなるための活動をする。	
活動の成果： 子どもも保護者も学校も地域も同じ目標に向かい取り組んでいる ① チャレンジすることを可視化することで、最後まであきらめずに努力するようになってきた。 ② 課題解決のために子どもたちが自ら企画した取組は、自信をもって堂々と発表し「もっとやりたい」と意欲的で楽しそうに活動するようになった。 ③ 「60 デー：早寝・早起き・朝ごはん・メディアは 60 分まで」の取組で、朝ご飯を食べる人や生活リズム名人が増加した。 ④ 深呼吸をして気持ちを鎮めたり思いを伝える練習をしたりすることで、心の感情をコントロールできる子どもが増えてきた。 ⑤ 地域全体で温かい風土・環境で迎えることで、昨年度、不登校傾向だった子どもが毎日来るようになった。 ⑥ 地域の方の呼びかけもあり、ラジオ体操の参加者が増加し気持ちの良い挨拶ができるようになってきた。	
アピールポイント (アイデアや工夫)： 子ども・保護者・地域が持っている力を発揮できる環境づくり ① 目標を最後まであきらめずにチャレンジし、達成できた時の喜びは、本人の自信となり次への挑戦に繋がる。 ② 安心安全な環境づくりとなるために、温かい「あいさつ・ことばがけ・態度」を地域全体で心がけている。 ③ 子どもや保護者が「新居小の健康大使」として健康の渦を巻き起こす(課題改善をする)ために、ワクワクやりたくなるようなアイデアを提案してくれ、主体的に心と体の健康づくりを推進してくれている。 ④ 学校全体がワールドカフェ方式のような、リラックスした和やかな雰囲気の中で話し合いがなされ、思いや問いを共有するとともに、学校・保護者・地域に健康づくりを発信することができている。	

